

4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 3 年度目（令和 6 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		1,883	t-CO <sub>2</sub>
（温室①を酸効除炭ガス換算）	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO <sub>2</sub>
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO <sub>2</sub>
	④メタン		t-CO <sub>2</sub>
	⑤一酸化二窒素		t-CO <sub>2</sub>
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO <sub>2</sub>
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO <sub>2</sub>
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO <sub>2</sub>
	⑨三ふっ化窒素		t-CO <sub>2</sub>
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO <sub>2</sub>
温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）		1,883	t-CO <sub>2</sub>

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	原単位排出量
------------------	--------

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績				
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度		
温室効果ガス総排出量		t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>
削減率（対基準年度）				%		%		%	%
温室効果ガスみなし総排出量						t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>
削減率（対基準年度）						%		%	%

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度			
原単位あたりの排出量	0.09401	t-CO <sub>2</sub> / m <sup>2</sup>	0.0926	t-CO <sub>2</sub> / m <sup>2</sup>	0.0897	t-CO <sub>2</sub> / m <sup>2</sup>	0.09127	t-CO <sub>2</sub> / m <sup>2</sup>	0.09251	t-CO <sub>2</sub> / m <sup>2</sup>
削減率（対基準年度）			1.5	%	4.6	%	2.9	%	1.6	%
原単位あたりのみなし排出量						t-CO <sub>2</sub> / m <sup>2</sup>		t-CO <sub>2</sub> / m <sup>2</sup>		t-CO <sub>2</sub> / m <sup>2</sup>
削減率（対基準年度）						%		%		%

（2）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

今年度は、重油の使用量をやや削減することができた一方で、電力使用量は微増となった。ただし、全体としては削減率の目標値に近づく結果となったと評価している。昨年に引き続き、出社時間にあわせた空調調整や、人の少ない時間帯の設備稼働を抑える運用を継続して行ったことが、重油の削減につながったと考える。来年度も引き続き、運用の工夫によってさらなる削減を目指したい。

- 備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。
- 備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。
- 備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。
- 備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
省エネルギー・省資源の行動実践（冷暖房）	冷暖房温度の適正化の推進（過冷暖房の抑制） 断熱フィルムの順次貼り替え 空調機等のVベルトを省エネベルトへの交換 空調機のオーバーホールで、IE3モーターの導入を図る 外気導入量の調整による空調負荷の軽減		実施中
省エネルギー・省資源の行動実践（照明）	テナントカギ管理システムによる共用部照明の自己管理による不要照明の消灯 テナント入退館時におけるLED照明器具の導入		実施中 今年度全体の1/3店舗LED入替済み
その他の行動実践	デマンド監視による電気使用量のピークカット ターボ冷凍機の更新による冷媒フロン（CFC-11）からHFC-123hの切り替えによる環境への影響削減		実施中
廃棄物の排出制御	古紙の分別回収～リサイクルを推進する。		実施中

指針第 2 号様式

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 3 年度目 (令和 6 年度) における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要 (規模、性能、発生エネルギー量等)

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
電力		t-CO <sub>2</sub>
熱		t-CO <sub>2</sub>

(3) 環境価値 (クレジット等) の活用の状況

計画期間 3 年度目 (令和 6 年度) におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量 (みなしの削減量) の合計

t-CO <sub>2</sub>
-------------------

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ IS014001による環境管理教育の実施</li> </ul>
--

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

引き続き、エレベーターホールに「環境保全の日」と掲示し、テナントへの環境意識向上の啓蒙活動を行う。
---